

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード

132310

あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業名

歯科医師会衛生行政協力補助事業

担当部局・課

健康福祉部
健康福祉課

事業内容

歯科衛生行政協力に関する協定書に基づき、市の歯科保健行政を円滑に実施するため歯科医師会へ補助金を交付。

事業開始(予定)年度

昭和47年度

事業終了(予定)年度

—

この事業の上位施策

これから5年間のまちづくりプラン

視点

支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現

項目

きめ細かな地域福祉の推進

施策

市民の健康づくり推進

⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。
行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。

事業の目的

各種保健事業（乳幼児健診、健康相談、健康教育等）、救急歯科医療、福祉行政（介護保険等）、学校保健活動等において歯科医師会の協力体制を確保する必要があり、歯科医師会のへの支援を行うことにより市民の保健福祉の向上に寄与することを目的とする。

予算費目
(複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)

(款) 衛生費
(項) 保健衛生費
(目) 保健衛生総務費
(事項) 保健衛生事業補助金等

事業費等の概算

平成17年度(決算)

事業費

1,500千円

財源内訳

国・県補助金等

—

市債

—

その他(使用料等)

—

一般財源(市税等)

1,500千円

投入人員

0.10人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

人件費

857千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

経費合計

2,357千円

平成18年度(予算)

事業費

1,500千円

財源内訳

国・県補助金等

—

市債

—

その他(使用料等)

—

一般財源(市税等)

1,500千円

投入人員

0.10人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

人件費

857千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

経費合計

2,357千円

活動指標

指標名(単位)

指標なし

計画と実績

年度
区分

H17年度

H18年度

意味・算式等

—

計画値

—

実績値

—

評価結果

A

上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

評価結果	A
	上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。